

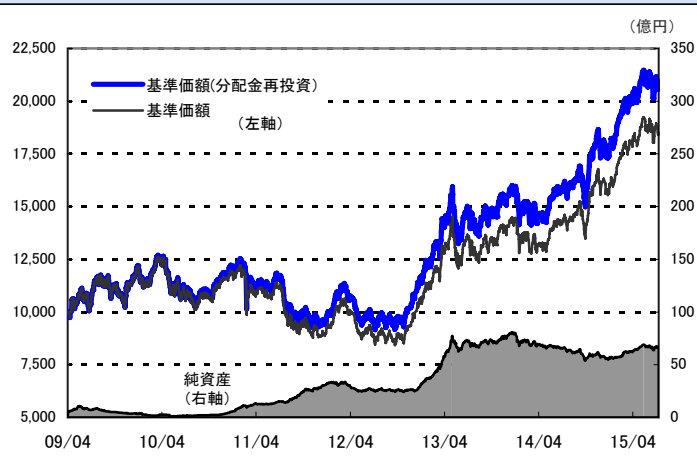


円コース(毎月分配型)

運用実績

2015年7月31日 現在

運用実績の推移 (設定日前日=10,000として指数化:日次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および上記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

基準価額※ 18,488 円
※分配金控除後

純資産総額 67.3 億円

| 騰落率 | |
|-----|--------|
| 期間 | ファンド |
| 1カ月 | -0.4% |
| 3カ月 | 0.2% |
| 6カ月 | 14.7% |
| 1年 | 27.4% |
| 3年 | 118.1% |

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来 106.5%

設定来累計 1,215 円

設定来= 2009年4月23日以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

- 信託設定日 2009年4月23日
- 信託期間 2019年6月23日まで
- 決算日 原則、毎月22日
(同日が休業日の場合は翌営業日)

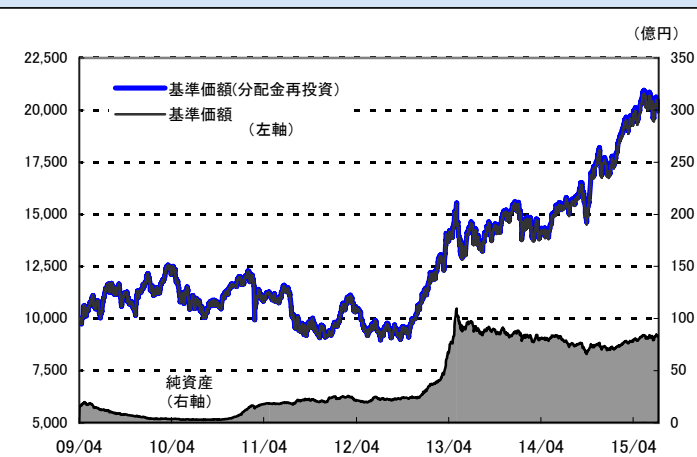
| 分配金(1万口当たり、課税前)の推移 | |
|--------------------|------|
| 2015年7月 | 10 円 |
| 2015年6月 | 10 円 |
| 2015年5月 | 10 円 |
| 2015年4月 | 10 円 |
| 2015年3月 | 10 円 |

円コース(年2回決算型)

運用実績

2015年7月31日 現在

運用実績の推移 (設定日前日=10,000として指数化:日次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および上記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

基準価額※ 19,980 円
※分配金控除後

純資産総額 83.2 億円

| 騰落率 | |
|-----|--------|
| 期間 | ファンド |
| 1カ月 | -0.4% |
| 3カ月 | 0.1% |
| 6カ月 | 14.6% |
| 1年 | 27.3% |
| 3年 | 116.8% |

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来 101.4%

設定来累計 100 円

設定来= 2009年4月23日以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

- 信託設定日 2009年4月23日
- 信託期間 2019年6月23日まで
- 決算日 原則4月、10月の各22日
(同日が休業日の場合は翌営業日)

| 分配金(1万口当たり、課税前)の推移 | |
|--------------------|------|
| 2015年4月 | 10 円 |
| 2014年10月 | 10 円 |
| 2014年4月 | 10 円 |
| 2013年10月 | 10 円 |
| 2013年4月 | 10 円 |

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆お申込みは

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員
一般社団法人日本投資顧問業協会会員



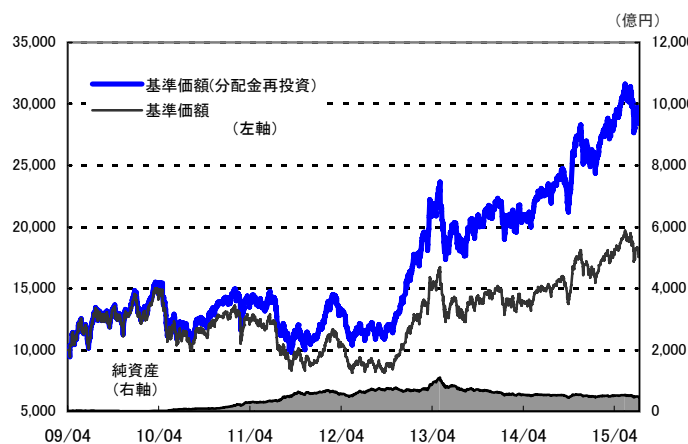
豪ドルコース(毎月分配型)

運用実績

2015年7月31日 現在

運用実績の推移

(設定日前日=10,000として指数化:日次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および上記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

基準価額※ 17,694 円

※分配金控除後

純資産総額 474.5 億円

- 信託設定日 2009年4月23日
- 信託期間 2019年6月23日まで
- 決算日 原則、毎月22日
(同日が休業日の場合は翌営業日)

騰落率

| 期間 | ファンド |
|-----|--------|
| 1カ月 | -4.0% |
| 3カ月 | -3.0% |
| 6カ月 | 13.3% |
| 1年 | 21.9% |
| 3年 | 150.8% |

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

分配金(1万口当たり、課税前)の推移

| | |
|---------|------|
| 2015年7月 | 80 円 |
| 2015年6月 | 80 円 |
| 2015年5月 | 80 円 |
| 2015年4月 | 80 円 |
| 2015年3月 | 80 円 |

設定来 186.4%

設定来累計 5,870 円

設定来= 2009年4月23日以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

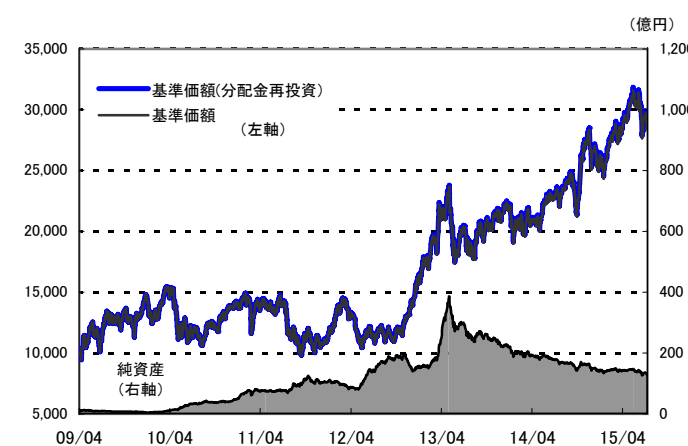
豪ドルコース(年2回決算型)

運用実績

2015年7月31日 現在

運用実績の推移

(設定日前日=10,000として指数化:日次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および上記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

基準価額※ 28,626 円

※分配金控除後

純資産総額 131.5 億円

- 信託設定日 2009年4月23日
- 信託期間 2019年6月23日まで
- 決算日 原則4月、10月の各22日
(同日が休業日の場合は翌営業日)

騰落率

| 期間 | ファンド |
|-----|--------|
| 1カ月 | -4.0% |
| 3カ月 | -3.0% |
| 6カ月 | 13.3% |
| 1年 | 21.9% |
| 3年 | 151.7% |

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

分配金(1万口当たり、課税前)の推移

| | |
|----------|------|
| 2015年4月 | 10 円 |
| 2014年10月 | 10 円 |
| 2014年4月 | 10 円 |
| 2013年10月 | 10 円 |
| 2013年4月 | 10 円 |

設定来 188.5%

設定来累計 120 円

設定来= 2009年4月23日以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆お申込みは

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員
一般社団法人日本投資顧問業協会会員



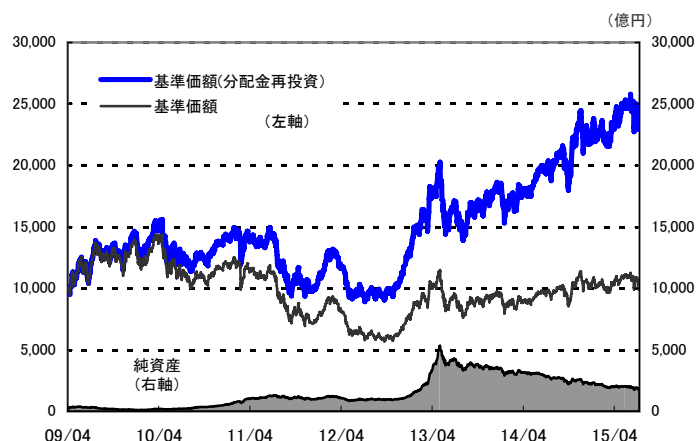
ブラジルリアルコース(毎月分配型)

運用実績

2015年7月31日 現在

運用実績の推移

(設定日前日=10,000として指数化:日次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および上記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

基準価額※ 10,114 円

※分配金控除後

純資産総額 1,791.7 億円

- 信託設定日 2009年4月23日
- 信託期間 2019年6月23日まで
- 決算日 原則、毎月22日
(同日が休業日の場合は翌営業日)

騰落率

| 期間 | ファンド |
|-----|--------|
| 1カ月 | -4.2% |
| 3カ月 | -5.6% |
| 6カ月 | -0.4% |
| 1年 | 14.9% |
| 3年 | 149.7% |

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

分配金(1万口当たり、課税前)の推移

| | |
|---------|-------|
| 2015年7月 | 100 円 |
| 2015年6月 | 100 円 |
| 2015年5月 | 100 円 |
| 2015年4月 | 100 円 |
| 2015年3月 | 100 円 |

設定来 134.0%

設定来累計 7,900 円

設定来=2009年4月23日以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

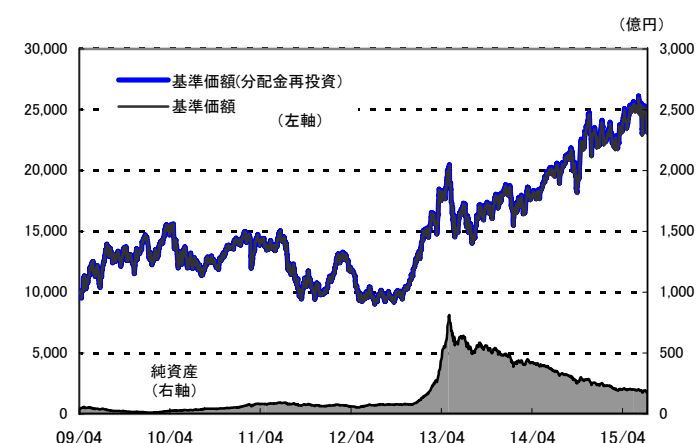
ブラジルリアルコース(年2回決算型)

運用実績

2015年7月31日 現在

運用実績の推移

(設定日前日=10,000として指数化:日次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および上記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

基準価額※ 23,529 円

※分配金控除後

純資産総額 178.6 億円

- 信託設定日 2009年4月23日
- 信託期間 2019年6月23日まで
- 決算日 原則4月、10月の各22日
(同日が休業日の場合は翌営業日)

騰落率

| 期間 | ファンド |
|-----|--------|
| 1カ月 | -4.2% |
| 3カ月 | -5.5% |
| 6カ月 | -0.4% |
| 1年 | 15.0% |
| 3年 | 150.5% |

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

分配金(1万口当たり、課税前)の推移

| | |
|----------|------|
| 2015年4月 | 10 円 |
| 2014年10月 | 10 円 |
| 2014年4月 | 10 円 |
| 2013年10月 | 10 円 |
| 2013年4月 | 10 円 |

設定来 137.0%

設定来累計 110 円

設定来=2009年4月23日以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆お申込みは

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員
一般社団法人日本投資顧問業協会会員



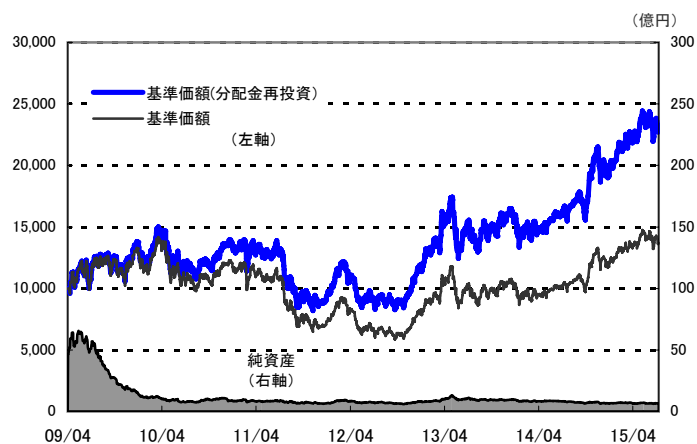
南アフリカランドコース(毎月分配型)

運用実績

2015年7月31日 現在

運用実績の推移

(設定日前日=10,000として指数化:日次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

基準価額※ 13,725 円

※分配金控除後

純資産総額 6.4 億円

- 信託設定日 2009年4月23日
- 信託期間 2019年6月23日まで
- 決算日 原則、毎月22日
(同日が休業日の場合は翌営業日)

騰落率

| 期間 | ファンド |
|-----|--------|
| 1カ月 | -1.5% |
| 3カ月 | 0.5% |
| 6カ月 | 14.7% |
| 1年 | 37.0% |
| 3年 | 155.2% |

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

分配金(1万口当たり、課税前)の推移

| 期間 | 分配金 |
|---------|------|
| 2015年7月 | 50 円 |
| 2015年6月 | 50 円 |
| 2015年5月 | 50 円 |
| 2015年4月 | 50 円 |
| 2015年3月 | 50 円 |

設定来 129.0%

設定来累計 4,980 円

設定来= 2009年4月23日以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

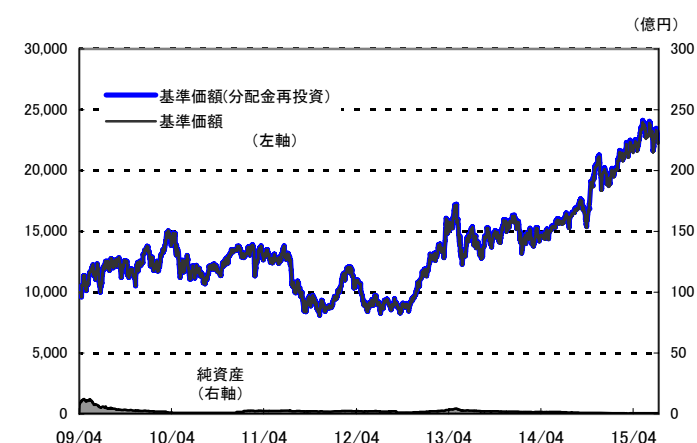
南アフリカランドコース(年2回決算型)

運用実績

2015年7月31日 現在

運用実績の推移

(設定日前日=10,000として指数化:日次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

基準価額※ 22,389 円

※分配金控除後

純資産総額 0.6 億円

- 信託設定日 2009年4月23日
- 信託期間 2019年6月23日まで
- 決算日 原則4月、10月の各22日
(同日が休業日の場合は翌営業日)

騰落率

| 期間 | ファンド |
|-----|--------|
| 1カ月 | -1.7% |
| 3カ月 | 0.0% |
| 6カ月 | 14.2% |
| 1年 | 36.4% |
| 3年 | 152.8% |

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

分配金(1万口当たり、課税前)の推移

| 期間 | 分配金 |
|----------|------|
| 2015年4月 | 10 円 |
| 2014年10月 | 10 円 |
| 2014年4月 | 10 円 |
| 2013年10月 | 10 円 |
| 2013年4月 | 10 円 |

設定来 125.5%

設定来累計 100 円

設定来= 2009年4月23日以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。

◆お申込みは

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員
一般社団法人日本投資顧問業協会会員



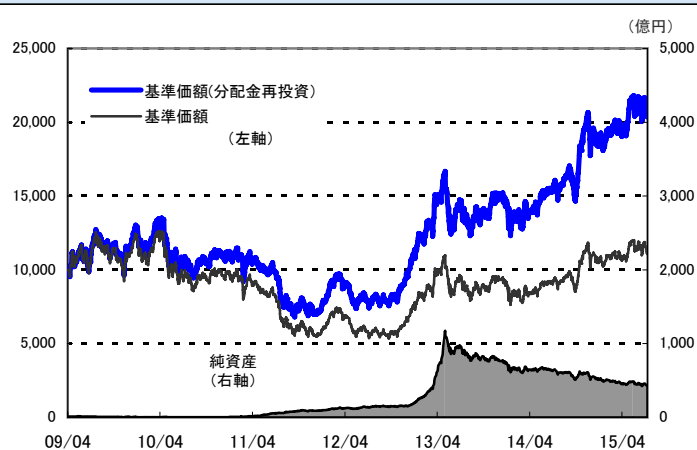
トルコリラコース(毎月分配型)

運用実績

2015年7月31日 現在

運用実績の推移

(設定日前日=10,000として指数化:日次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および上記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

基準価額※ 11,191 円

※分配金控除後

純資産総額 430.8 億円

- 信託設定日 2009年4月23日
- 信託期間 2019年6月23日まで
- 決算日 原則、毎月22日
(同日が休業日の場合は翌営業日)

騰落率

| 期間 | ファンド |
|-----|--------|
| 1カ月 | -1.3% |
| 3カ月 | 3.6% |
| 6カ月 | 10.3% |
| 1年 | 27.8% |
| 3年 | 165.1% |

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

分配金(1万口当たり、課税前)の推移

| 期間 | 分配金 |
|---------|------|
| 2015年7月 | 70 円 |
| 2015年6月 | 70 円 |
| 2015年5月 | 70 円 |
| 2015年4月 | 70 円 |
| 2015年3月 | 70 円 |

設定来 105.4%

設定来累計 5,200 円

設定来= 2009年4月23日以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

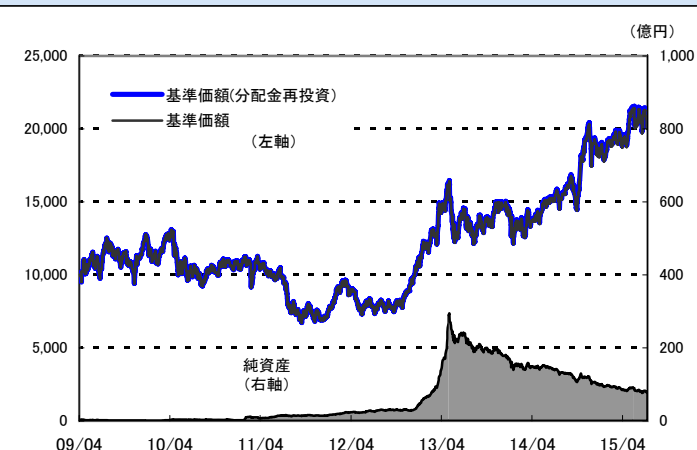
トルコリラコース(年2回決算型)

運用実績

2015年7月31日 現在

運用実績の推移

(設定日前日=10,000として指数化:日次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および上記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

基準価額※ 20,177 円

※分配金控除後

純資産総額 77.0 億円

- 信託設定日 2009年4月23日
- 信託期間 2019年6月23日まで
- 決算日 原則4月、10月の各22日
(同日が休業日の場合は翌営業日)

騰落率

| 期間 | ファンド |
|-----|--------|
| 1カ月 | -1.4% |
| 3カ月 | 3.6% |
| 6カ月 | 10.3% |
| 1年 | 27.9% |
| 3年 | 164.8% |

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

分配金(1万口当たり、課税前)の推移

| 期間 | 分配金 |
|----------|------|
| 2015年4月 | 10 円 |
| 2014年10月 | 10 円 |
| 2014年4月 | 10 円 |
| 2013年10月 | 10 円 |
| 2013年4月 | 10 円 |

設定来 103.2%

設定来累計 90 円

設定来= 2009年4月23日以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆お申込みは

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員
一般社団法人日本投資顧問業協会会員



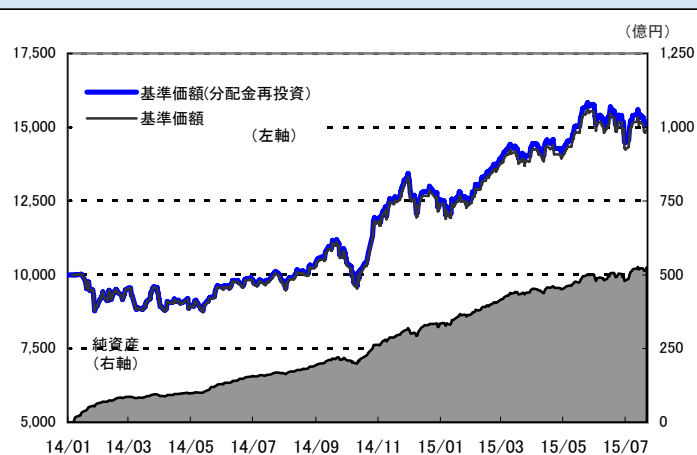
米ドルコース(毎月分配型)

運用実績

2015年7月31日 現在

運用実績の推移

(設定日前日=10,000として指数化:日次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

基準価額※ 14,950 円

※分配金控除後

純資産総額 525.3 億円

騰落率

| 期間 | ファンド |
|-----|-------|
| 1カ月 | 0.6% |
| 3カ月 | 4.2% |
| 6カ月 | 20.3% |
| 1年 | 50.7% |
| 3年 | - |

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来 51.9%

設定来累計 180 円

設定来= 2014年1月14日以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

- 信託設定日 2014年1月14日
- 信託期間 2019年6月23日まで
- 決算日 原則、毎月22日
(同日が休業日の場合は翌営業日)

分配金(1万口当たり、課税前)の推移

| | |
|---------|------|
| 2015年7月 | 10 円 |
| 2015年6月 | 10 円 |
| 2015年5月 | 10 円 |
| 2015年4月 | 10 円 |
| 2015年3月 | 10 円 |

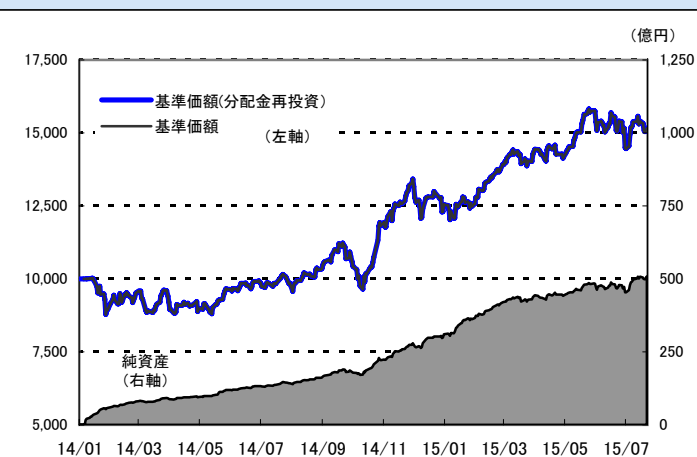
米ドルコース(年2回決算型)

運用実績

2015年7月31日 現在

運用実績の推移

(設定日前日=10,000として指数化:日次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

基準価額※ 15,163 円

※分配金控除後

純資産総額 508.8 億円

騰落率

| 期間 | ファンド |
|-----|-------|
| 1カ月 | 0.6% |
| 3カ月 | 4.1% |
| 6カ月 | 20.2% |
| 1年 | 50.0% |
| 3年 | - |

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来 51.7%

設定来累計 10 円

設定来= 2014年1月14日以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

- 信託設定日 2014年1月14日
- 信託期間 2019年6月23日まで
- 決算日 原則4月、10月の各22日
(同日が休業日の場合は翌営業日)

分配金(1万口当たり、課税前)の推移

| | |
|----------|------|
| 2015年4月 | 10 円 |
| 2014年10月 | 0 円 |
| 2014年4月 | 0 円 |
| - | - |
| - | - |

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆お申込みは

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員
一般社団法人日本投資顧問業協会会員



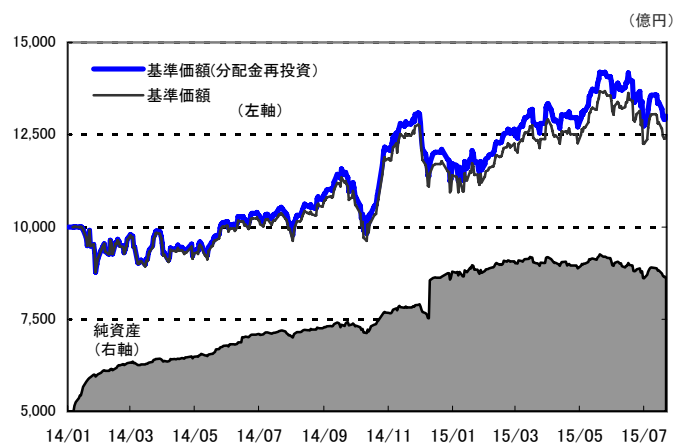
メキシコペソコース(毎月分配型)

運用実績

2015年7月31日 現在

運用実績の推移

(設定日前日=10,000として指数化:日次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

基準価額※ 12,478 円

※分配金控除後

純資産総額 28.9 億円

- 信託設定日 2014年1月14日
- 信託期間 2019年6月23日まで
- 決算日 原則、毎月22日
(同日が休業日の場合は翌営業日)

騰落率

| 期間 | ファンド |
|-----|-------|
| 1カ月 | -3.1% |
| 3カ月 | -0.9% |
| 6カ月 | 10.6% |
| 1年 | 23.4% |
| 3年 | - |

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

分配金(1万口当たり、課税前)の推移

| 期間 | 分配金 |
|---------|------|
| 2015年7月 | 25 円 |
| 2015年6月 | 25 円 |
| 2015年5月 | 25 円 |
| 2015年4月 | 25 円 |
| 2015年3月 | 25 円 |

設定来 30.0%

設定来累計 450 円

設定来= 2014年1月14日以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

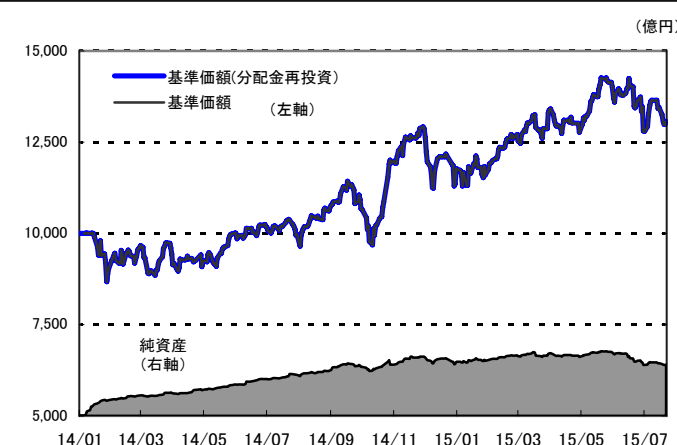
メキシコペソコース(年2回決算型)

運用実績

2015年7月31日 現在

運用実績の推移

(設定日前日=10,000として指数化:日次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

基準価額※ 13,061 円

※分配金控除後

純資産総額 11.2 億円

- 信託設定日 2014年1月14日
- 信託期間 2019年6月23日まで
- 決算日 原則4月、10月の各22日
(同日が休業日の場合は翌営業日)

騰落率

| 期間 | ファンド |
|-----|-------|
| 1カ月 | -3.1% |
| 3カ月 | -0.9% |
| 6カ月 | 10.7% |
| 1年 | 25.8% |
| 3年 | - |

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

分配金(1万口当たり、課税前)の推移

| 期間 | 分配金 |
|----------|------|
| 2015年4月 | 10 円 |
| 2014年10月 | 0 円 |
| 2014年4月 | 0 円 |
| - | - |
| - | - |

設定来 30.7%

設定来累計 10 円

設定来= 2014年1月14日以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆お申込みは

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員
一般社団法人日本投資顧問業協会会員



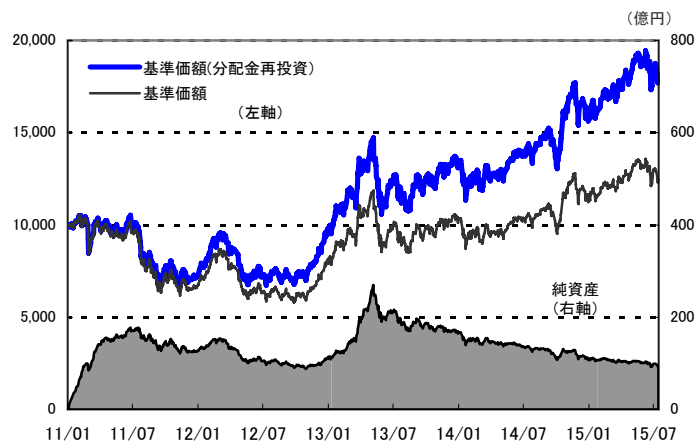
資源国通貨コース(毎月分配型)

運用実績

2015年7月31日 現在

運用実績の推移

(設定日前日=10,000として指数化:日次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

| | |
|---------|----------|
| 基準価額※ | 12,446 円 |
| ※分配金控除後 | |

| | |
|-------|---------|
| 純資産総額 | 94.6 億円 |
|-------|---------|

| 騰落率 | |
|-----|--------|
| 期間 | ファンド |
| 1カ月 | -3.1% |
| 3カ月 | -2.6% |
| 6カ月 | 9.1% |
| 1年 | 24.4% |
| 3年 | 150.2% |

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

| | |
|-----|-------|
| 設定来 | 79.0% |
|-----|-------|

| | |
|-------|---------|
| 設定来累計 | 3,240 円 |
|-------|---------|

設定来= 2011年1月17日以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

- 信託設定日 2011年1月17日
- 信託期間 2019年6月23日まで
- 決算日 原則、毎月22日
(同日が休業日の場合は翌営業日)

| 分配金(1万口当たり、課税前)の推移 | |
|--------------------|------|
| 2015年7月 | 60 円 |
| 2015年6月 | 60 円 |
| 2015年5月 | 60 円 |
| 2015年4月 | 60 円 |
| 2015年3月 | 60 円 |

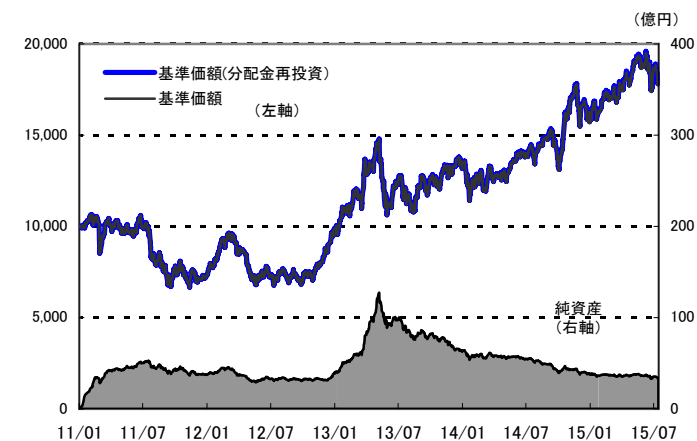
資源国通貨コース(年2回決算型)

運用実績

2015年7月31日 現在

運用実績の推移

(設定日前日=10,000として指数化:日次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

| | |
|---------|----------|
| 基準価額※ | 17,947 円 |
| ※分配金控除後 | |

| | |
|-------|---------|
| 純資産総額 | 33.8 億円 |
|-------|---------|

| 騰落率 | |
|-----|--------|
| 期間 | ファンド |
| 1カ月 | -3.1% |
| 3カ月 | -2.6% |
| 6カ月 | 9.1% |
| 1年 | 24.5% |
| 3年 | 150.6% |

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

| | |
|-----|-------|
| 設定来 | 80.3% |
|-----|-------|

| | |
|-------|------|
| 設定来累計 | 60 円 |
|-------|------|

設定来= 2011年1月17日以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

- 信託設定日 2011年1月17日
- 信託期間 2019年6月23日まで
- 決算日 原則4月、10月の各22日
(同日が休業日の場合は翌営業日)

| 分配金(1万口当たり、課税前)の推移 | |
|--------------------|------|
| 2015年4月 | 10 円 |
| 2014年10月 | 10 円 |
| 2014年4月 | 10 円 |
| 2013年10月 | 10 円 |
| 2013年4月 | 10 円 |

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込みの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆お申込みは

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員
一般社団法人日本投資顧問業協会会員



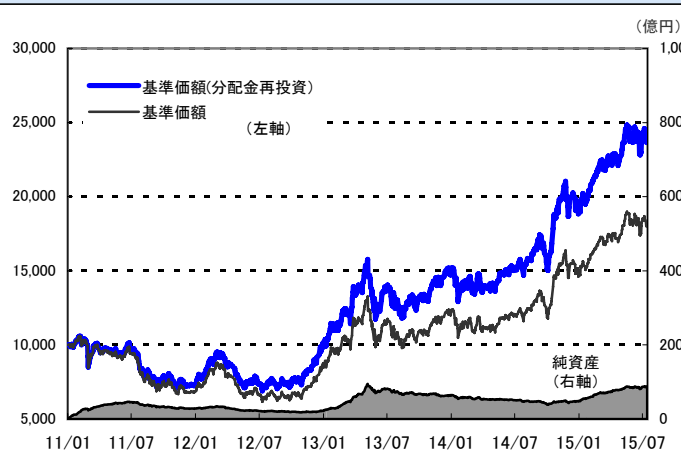
アジア通貨コース(毎月分配型)

運用実績

2015年7月31日 現在

運用実績の推移

(設定日前日=10,000として指数化:日次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

基準価額※ 18,144 円

※分配金控除後

純資産総額 88.0 億円

騰落率

| 期間 | ファンド |
|-----|--------|
| 1カ月 | 0.6% |
| 3カ月 | 4.3% |
| 6カ月 | 20.1% |
| 1年 | 51.8% |
| 3年 | 231.1% |

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来 138.7%

設定来累計 2,700 円

設定来= 2011年1月17日以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

- 信託設定日 2011年1月17日
- 信託期間 2019年6月23日まで
- 決算日 原則、毎月22日
(同日が休業日の場合は翌営業日)

分配金(1万口当たり、課税前)の推移

| | |
|---------|------|
| 2015年7月 | 50 円 |
| 2015年6月 | 50 円 |
| 2015年5月 | 50 円 |
| 2015年4月 | 50 円 |
| 2015年3月 | 50 円 |

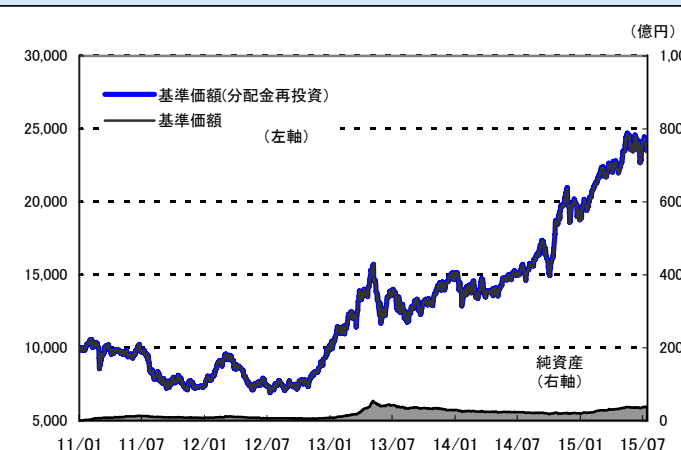
アジア通貨コース(年2回決算型)

運用実績

2015年7月31日 現在

運用実績の推移

(設定日前日=10,000として指数化:日次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

基準価額※ 23,633 円

※分配金控除後

純資産総額 37.3 億円

騰落率

| 期間 | ファンド |
|-----|--------|
| 1カ月 | 0.6% |
| 3カ月 | 4.1% |
| 6カ月 | 19.8% |
| 1年 | 51.6% |
| 3年 | 228.3% |

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来 137.4%

設定来累計 60 円

設定来= 2011年1月17日以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

- 信託設定日 2011年1月17日
- 信託期間 2019年6月23日まで
- 決算日 原則4月、10月の各22日
(同日が休業日の場合は翌営業日)

分配金(1万口当たり、課税前)の推移

| | |
|----------|------|
| 2015年4月 | 10 円 |
| 2014年10月 | 10 円 |
| 2014年4月 | 10 円 |
| 2013年10月 | 10 円 |
| 2013年4月 | 10 円 |

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆お申込みは

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員
一般社団法人日本投資顧問業協会会員



ノムラ・マルチ・カレンシー・ジャパン・ストック・リーダーズ・ファンドの資産内容と組入上位10銘柄

資産内容

2015年7月31日 現在

| 資産別配分 | |
|--------|-------|
| 資産 | 純資産比 |
| 株式 | 86.6% |
| 株式先物 | 11.4% |
| 株式計 | 98.0% |
| その他の資産 | 13.4% |
| 合計 | - |

・先物の建玉がある場合は、合計額を表示しておりません。

| ポートフォリオ特性値 | |
|------------|------|
| 配当利回り(年率) | |
| | 1.4% |

・配当利回り:組入銘柄の今期または前期の配当予想(課税前)を、加重平均して算出。
(東洋経済新報社データ等を基に野村アセットマネジメントが作成)

| 業種別配分 | |
|--------|--------|
| 業種 | 純資産比 |
| 電気機器 | 18.0% |
| 輸送用機器 | 12.4% |
| 機械 | 8.9% |
| 医薬品 | 5.6% |
| 化学 | 5.1% |
| その他の業種 | 36.5% |
| その他の資産 | 13.4% |
| 合計 | 100.0% |

・業種は東証33業種分類による。

組入上位10銘柄

2015年7月31日 現在

| 銘柄 | 業種 | 純資産比 |
|-------------------|-------|-------|
| 良品計画 | 小売業 | 2.5% |
| シスメックス | 電気機器 | 2.4% |
| 塩野義製薬 | 医薬品 | 2.3% |
| 三菱UFJフィナンシャル・グループ | 銀行業 | 2.2% |
| トヨタ自動車 | 輸送用機器 | 2.2% |
| 味の素 | 食料品 | 2.1% |
| キーエンス | 電気機器 | 2.0% |
| 日本電産 | 電気機器 | 1.9% |
| 日本精工 | 機械 | 1.9% |
| セブン&アイ・ホールディングス | 小売業 | 1.8% |
| 合計 | | 21.3% |

組入銘柄数 : 109銘柄

・業種は東証33業種分類による。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆お申込みは

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員
一般社団法人日本投資顧問業協会会員



NDF(ノン・デリバブル・フォワード)取引について

為替予約取引とNDF取引

為替取引は、主に「為替予約取引」を用います。
しかし、中国元、ブラジルレアル、インドルピー、インドネシアピアなど、一部の新興国通貨では内外の資金流出入を抑止する当局の規制などを背景とし、機動的に「為替予約取引」ができません。



そこで、**NDF取引**を活用します。

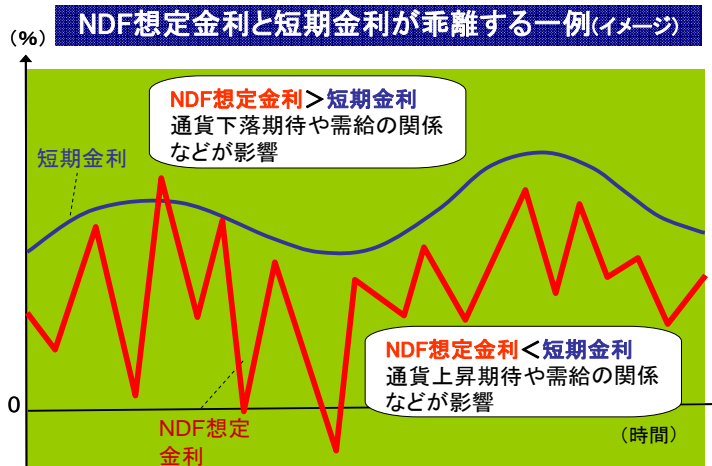
NDF(ノン・デリバブル・フォワード)取引とは

- ◆ 為替先渡取引の一種で、主に金融機関との相対で取引
- ◆ 当該通貨の受け渡しが発生せず、主に米ドルなど主要通貨で差金決済
- ◆ NDF取引を用いた為替取引では、通常の為替予約取引と比べ、為替市場、金利市場の影響により、NDFの取引価格から想定される金利(NDFインプライド金利)が、取引時点における当該通貨の短期金利水準から、大きく乖離する場合があります。



◎NDFの取引価格から想定される金利(NDFインプライド金利)は、通貨に対する需給や通貨の上昇期待が反映され、マイナスになる程低くなる場合もあります。その場合、為替取引によるプレミアムの減少やコストの発生により、ファンドのパフォーマンスに影響を与えることがあります。

乖離の背景は、各種規制で金融市場の自由度が高くないことから、割高や割安を是正する市場のメカニズムが十分に機能しないことなどが挙げられます。



(注) 上記は、イメージであり、すべての事象があてはまるとは限りません。
また、将来の水準を予測、または示唆するものではありません。

上記の要因以外でも、円の短期金利が上昇した場合は、為替取引によるプレミアムが減少したり、コストが生じる可能性があります。

(出所) 各種情報に基づき野村アセットマネジメント作成

(注) 上記は、NDF取引や為替市場に関する説明の一部であり、NDF取引および為替市場についてすべてを網羅したものではありません。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様にご帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆お申込みは

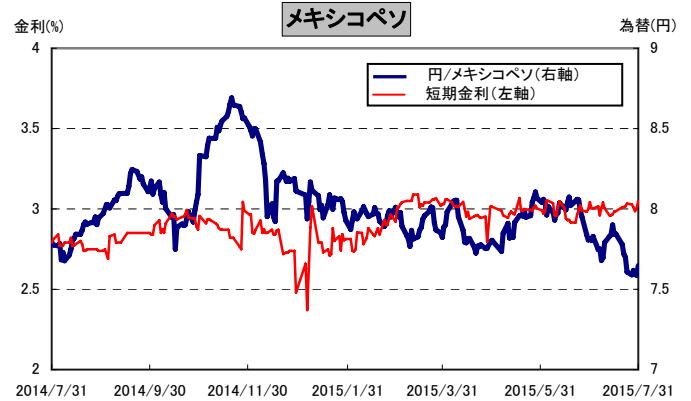
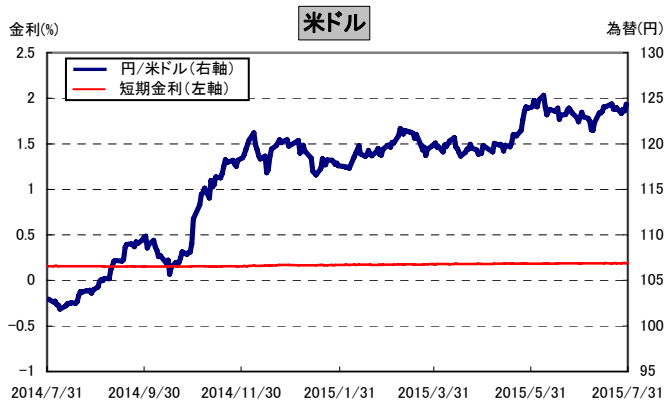
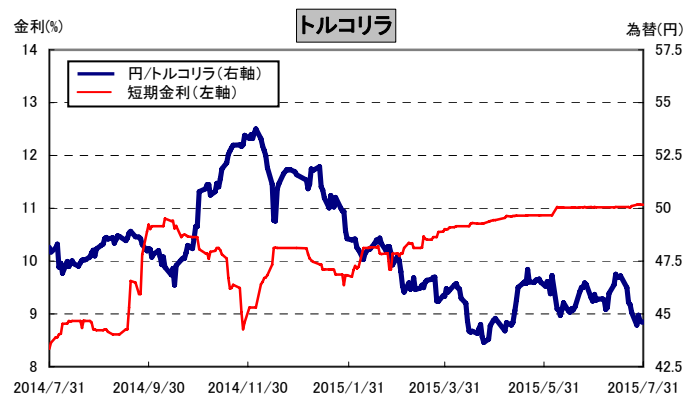
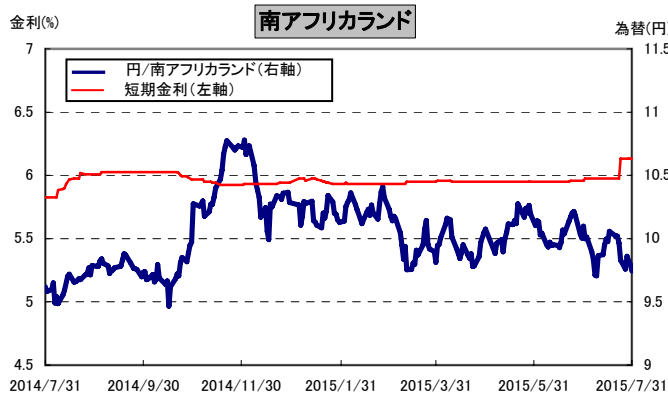
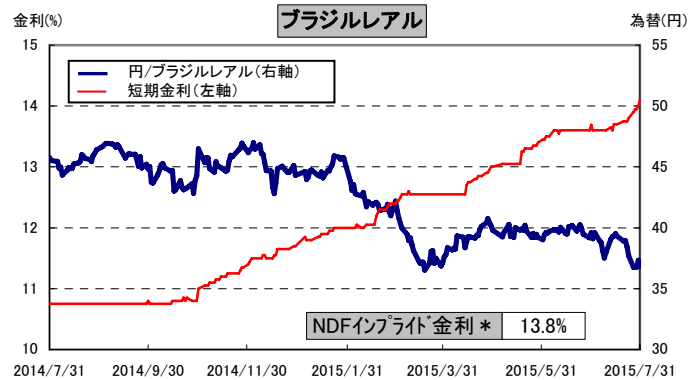
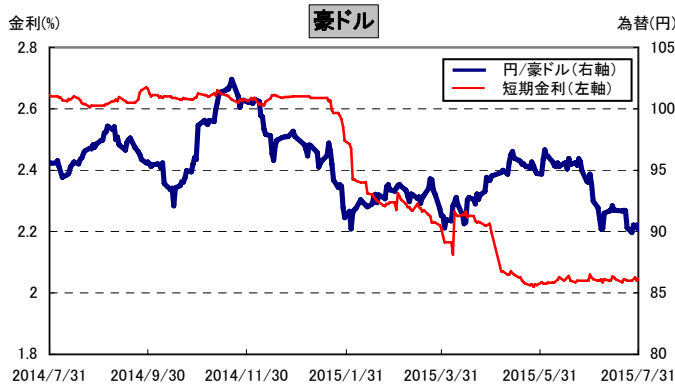
◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員
一般社団法人日本投資顧問業協会会員



対象通貨国の為替レートおよび短期金利(日次)

2015年7月31日 現在



* NDFインプライド金利は、日々の変動が大きいいため20日移動平均を使用しています。また、当資料で用いられているNDFインプライド金利はブルームバーグが集計・公表している数値であり、ファンドにおける実際のNDFインプライド金利とは異なる場合があります。

NDFについては11ページをご参照ください。

・出所:ブルームバーグのデータに基づき野村アセットマネジメント作成

【各通貨の短期金利】豪ドル:銀行手形1か月、ブラジルレアル:CD(譲渡性預金証書)レート1か月、南アフリカランド:ヨハネスブルグ・インターバンク・アグリド・レート1か月、トルコリラ:インターバンク・オファー・レート1か月、米ドル:1か月LIBOR、メキシコペソ:T-Bill1か月

・上記は過去のデータであり、将来を示唆あるいは保証するものではありません。また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの投資成果を示唆あるいは保証するものでもありません。

当資料は、野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等は、当資料作成時のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、元金が保証されているものではありません。ファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

◆お申込みは

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

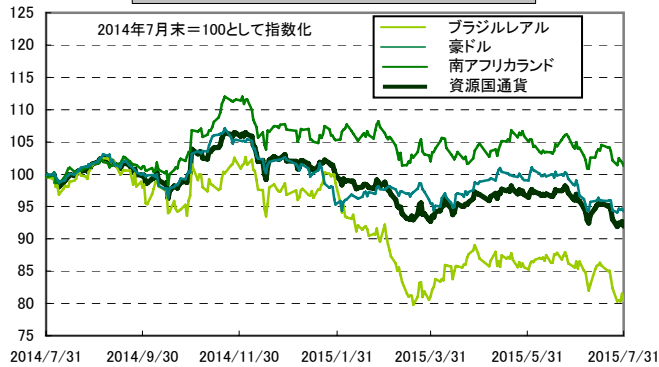
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員
一般社団法人日本投資顧問業協会会員



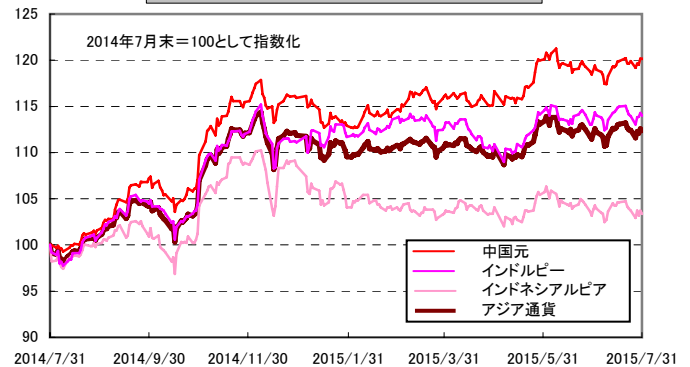
対象通貨国の為替レートおよび短期金利(日次)

2015年7月31日 現在

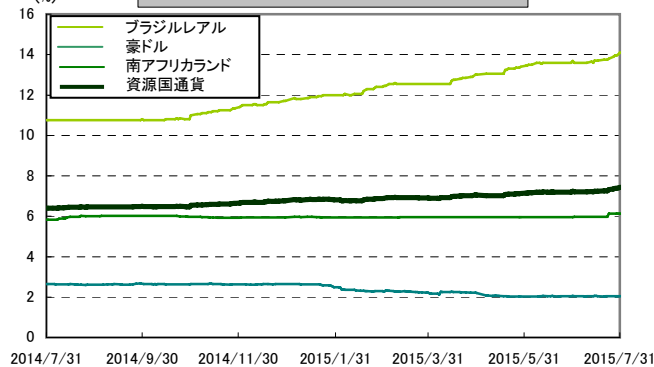
資源国通貨の為替(対円レート)の推移



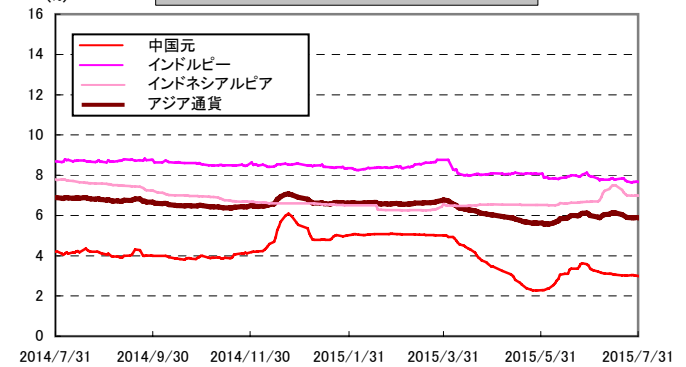
アジア通貨の為替(対円レート)の推移



資源国通貨の短期金利の利回り推移



アジア通貨の短期金利の利回り推移



NDFインプライド金利*

| ブラジルレアル | 中国元 | インドルピー | インドネシアルピア |
|---------|------|--------|-----------|
| 13.8% | 1.8% | 5.6% | 9.1% |

* NDFインプライド金利は、日々の変動が大きいため20日移動平均を使用しています。また、当資料で用いられているNDFインプライド金利はブルームバーグが集計・公表している数値であり、ファンドにおける実際のNDFインプライド金利とは異なる場合があります。NDFについては11ページをご参照ください。

・出所:ブルームバーグのデータに基づき野村アセットマネジメント作成

【各通貨の短期金利】ブラジルレアル:GD(譲渡性預金証書)レート1か月、豪ドル:銀行手形1か月、南アフリカランド:ヨハネスブルグ・インターバンク・アグリド・レート1か月、中国元:上海インターバンク・オファード・レート1か月、インドルピー:NSEインターバンク1か月オファー・レート、インドネシアルピア:インドネシア・ジャカルタ・インターバンク・オファード・レート1か月

・「資源国通貨」は3通貨(ブラジルレアル、豪ドル、南アフリカランド)に等分投資し、計算しています。なお、手数料等は考慮していません。

・「アジア通貨」は3通貨(中国元、インドルピー、インドネシアルピア)に等分投資し、計算しています。なお、手数料等は考慮していません。

・「資源国通貨」の短期金利は3通貨(ブラジルレアル、豪ドル、南アフリカランド)の短期金利の平均値です。

・「アジア通貨」の短期金利は3通貨(中国元、インドルピー、インドネシアルピア)の短期金利の平均値です。

・上記は過去のデータであり、将来を示唆あるいは保証するものではありません。また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等は、当資料作成時のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、元金が保証されているものではありません。ファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

◆お申込みは

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員
一般社団法人日本投資顧問業協会会員



先月の投資環境

○ 7月の国内株式市場は、東証株価指数(TOPIX)が月間で1.79%上昇し、月末に1,659.52ポイントとなりました。

○ 7月の国内株式市場は上昇しました。上旬には、ギリシャの国民投票で財政緊縮策に対する反対派が勝利したことで同国の債務問題の先行き不透明感が高まったことや、中国株式市場において中国政府による積極的な株価対策にも関わらず下落が継続し実体経済への影響が懸念されたことなどから大きく下落しました。中旬にかけては、ユーロ圏首脳がギリシャ金融支援策で基本合意したことや中国株式市場の下落に歯止めがかかったことで買い安心感が拡がり大きく上昇しました。下旬には、世界景気の減速懸念を背景に欧米株式が下落したことや、為替相場で円高が進行したことなどをを受けて日本株も下落する局面もありましたが、月末にかけては4-6月期決算における企業業績への拡大期待が高まったことなどを受け上昇し、月間でも上昇しました。

○ 東証33業種で見ると、原油安や訪日外国人増加などのメリットを受けると考えられる空運業など23業種が上昇しました。一方、需要の落ち込みによる価格下落と減産の悪影響を受けると考えられる鉄鋼など10業種が下落しました。

先月の運用経過

(運用実績、分配金は、課税前の数値で表示しております。)

○ 保有銘柄のうち、機械株、電気機器株、卸売業株などの値下がり方がマイナスに影響した一方、電子部品株、小売業株、医療機器株などの値上がり方がプラスに寄与しました。

○ 業種については、電気機器、輸送用機器、機械、医薬品などの外需関連を中心に投資をしました。

○ 個別銘柄の売買については、株価上昇により割安感がなくなった電気機器株、医薬品株、企業業績見通しに不透明感がある卸売業株などを売却した一方、グローバル競争力があり中期的な企業成長に対して割安感があると判断した電気機器株、空運業株、化学株、建設業株を買い付けしました。

○ 保有銘柄の予想平均配当利回りは、1.4%となりました。

今後の運用方針(2015年8月4日 現在)

(以下の内容は当資料作成日時点のものであり、予告なく変更する場合があります。)

○ 今後の投資環境

日本経済は、緩やかながらも拡大基調にあるとの判断を継続しています。1-3月期の実質GDP(国内総生産)成長率は前期比年率+3.9%と堅調でしたが、4-6月期の成長率見通しは一時的にマイナス成長に陥るとの市場見通しとなっています。悪天候要因などによる消費の低迷や米国、中国経済の減速による輸出の鈍化が成長率を押し下げたと見られます。ただし、7月以降は、賃金上昇や夏季賞与の増加により家計部門の実質所得が前年比で+2%台半ばまで高まってくると見込まれ、消費を中心に回復に転じると予想しています。黒田日銀総裁は景気回復に自信を深めており、エネルギー価格の低下により消費者物価は一時的にマイナスとなる可能性はあるものの、基調的な物価は緩やかに上昇しており現状の金融緩和と政策を維持することが適当との姿勢を明確にしています。2014年度の実質GDP成長率は前年比-0.9%となりましたが、2015年度の成長率は+1.5%と予想しています。

2015年度の予想経常利益は前年度比15%増(野村証券金融経済研究所予想によるRussell/Nomura Large Cap[除く金融]、7月31日時点)、2016年度は同9%増(同上)と連続増益となることが予想されます。また、株式市場については、2015年度の予想PBR(株価純資産倍率)が1.63倍(同上)と過去に比べて割高感はなく、景気と企業業績の回復期待が更に高まるにつれ、上昇すると見えています。

○ 運用方針

東京株式市場は、中国株急落や原油安など不透明感が残るものの、日欧による積極的な金融緩和策を背景に、堅調な展開が続いています。国内経済は、積極的な金融緩和策が続く中、消費者・企業マインドが改善に向かうことで、緩やかに回復傾向を辿ると考えています。米国経済は堅調な展開が続いており、欧州経済は低成長が続くものの欧州中央銀行が量的緩和に踏み切った効果が期待されることから、中期的に世界景気は徐々に持ち直していくと考えています。実体経済の回復が示されていくことで、中期的に株式市場の上昇が続くと考えています。組み入れにあたっては、世界の経済成長から恩恵を受ける日本企業の中から、「ものづくり力」、「技術・開発力」、「事業展開力」の視点で、グローバルで高い競争力を持つ日本企業の株式「日本ブランド株」に積極的に投資を行なっていく所存です。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)/ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込みメモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員
一般社団法人日本投資顧問業協会会員



組入上位10銘柄の解説

2015年7月31日 現在

| 組入銘柄 | 組入銘柄解説 |
|---------------------|--|
| 1 良品計画 | 「無印良品」を展開する専門小売業者。海外事業のけん引役である中国は出店ペースを加速させ、100店舗体制を確立。オーストラリアでも事業を開始、米国ハリウッドに旗艦店を出店するなど、海外事業を拡大させています。 |
| 2 シスメックス | 検体検査機器・試薬メーカー。特に、赤血球・白血球の数や機能を調べる検査装置(血球計数検査)、血液の固まりやすさを調べる検査装置(血液凝固検査)でトップブランド。高品質な製品供給に加えて、米国、中国、ドイツにもコールセンターを開設するなど、各地域の市場ニーズに合わせた専門性の高いサービス&サポート体制を構築。グローバルで高い顧客満足度を獲得しています。 |
| 3 塩野義製薬 | 研究開発型の国内大手製薬メーカー。自社開発した高脂血症薬「クレストール」は英アストラゼネカ社に販売権を譲渡したことで、世界各国で拡販が進み、同社の収益柱となりました。今後は、英グラクソ・スミスクライン社と共同研究を進めてきた抗エイズ薬の米国販売を進めていくことで、グローバル展開を加速しています。 |
| 4 三菱UFJフィナンシャル・グループ | 国内金融グループ最大手。強固な財務体質と邦銀ナンバーワンの海外ネットワークを背景に、米国、アジア地域を中心に海外事業を積極化させてきました。近年では、モルガン・スタンレーとの戦略的提携やタイのアユタヤ銀行子会社化など、海外金融機関との業務提携や出資を通じて、ネットワークの更なる拡充と商品やサービスの拡充に努めています。 |
| 5 トヨタ自動車 | 自動車メーカー世界3強。ハイブリッドカーに代表される技術・開発力の高さ、グループ部品会社との強固な関係、安定した財務力を武器に、世界各地で積極的に事業展開を行ってきました。 |
| 6 味の素 | 国内トップの調味料関連企業。同社の主力製品である「味の素」は世界でオンリー・ワン製品であり、地域に根ざした地道な販売啓蒙活動を経て、世界の130以上の国・地域で事業展開をし、着実にブランド力を高めてきました。 |
| 7 キーエンス | 検出・計測制御機器などを手掛けるファクトリー・オートメーション総合メーカー。世界初を連発する企画開発力と、顧客に密着したコンサルティングセールスで、世界のものづくりをサポートしてきました。 |
| 8 日本電産 | HDD用モーターの世界トップメーカー。圧倒的な高シェアを背景にした高いコスト競争力が強みです。機械設備、部材メーカー、競合相手までM&A(企業の合併・買収)をすることで生産技術力や特許を蓄積し、グローバル事業を拡大させてきました。 |
| 9 日本精工 | 軸受(ベアリング)の世界大手。軸受の生産で培ってきた精密加工技術を利用し、自動車部品、精機製品などにも事業展開を広げてきました。1960年代から海外展開を進め、日本・米州・欧州・アジアの4極体制をベースに生産・販売・技術拠点のネットワークを拡充しています。 |
| 10 セブン&アイ・ホールディングス | コンビニエンスストア、スーパー、百貨店、専門店、銀行、ネット事業など、多様な業態を擁する世界でも類を見ない流通サービスグループ。世界16カ国・地域におよそ5万5,000店舗、海外コンビニエンスストアの積極出店に加え、M&A(合併・買収)も含め、海外事業の拡大を進めることで、世界のセブンイレブンを目指しています。 |

(出所) 上位の各組入銘柄に関する「組入銘柄解説」は、各社ホームページ等の情報に基づき野村アセットマネジメントが作成しています。

(注) 当資料はファンドの上位組入銘柄の参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員
一般社団法人日本投資顧問業協会会員



ファンドの特色

●「野村日本ブランド株*投資(通貨選択型)」は、投資する外国投資信託において為替取引手法の異なる9つのコース(円コース、豪ドルコース、ブラジルリアルコース、南アフリカランドコース、トルコリラコース、資源国通貨コース、アジア通貨コース、米ドルコース、メキシコペソコース(各コースには「毎月分配型」、「年2回決算型」があります。))およびマネープールファンド(年2回決算型)の19本のファンドから構成されています。

※ファンド名にある「日本ブランド株」とは、グローバルで高い競争力を持つ日本企業の株式を指します。

●各コース(マネープールファンドを除く9つのコースを総称して「各コース」といいます。)

◆【円コース】

中長期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行いません。

【豪ドルコース、ブラジルリアルコース、南アフリカランドコース、トルコリラコース、資源国通貨コース、アジア通貨コース、米ドルコース、メキシコペソコース】

高水準のインカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行いません。

◆わが国の株式を実質的な主要投資対象*とします。

※「実質的な主要投資対象」とは、外国投資信託や「野村マネー マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。

◆円建ての外国投資信託「ノムラ・マルチ・カレンシー・ジャパン・ストック・リーダーズ・ファンド」および国内投資信託「野村マネー マザーファンド」を投資対象とします。

・「ノムラ・マルチ・カレンシー・ジャパン・ストック・リーダーズ・ファンド」には、為替取引手法の異なる9つのコースがあります。

| 各コース | 各コースが投資対象とする外国投資信託の為替取引手法 |
|-----------------------------------|--|
| 円コース (毎月分配型) / (年2回決算型) | 円建て資産について、為替取引を行いません。 |
| 豪ドルコース (毎月分配型) / (年2回決算型) | 円建て資産について、原則として円を売り、豪ドルを買う為替取引を行いません。 |
| ブラジルリアルコース (毎月分配型) / (年2回決算型) | 円建て資産について、原則として円を売り、ブラジルリアルを買う為替取引を行いません。 |
| 南アフリカランドコース (毎月分配型) / (年2回決算型) | 円建て資産について、原則として円を売り、南アフリカランドを買う為替取引を行いません。 |
| トルコリラコース (毎月分配型) / (年2回決算型) | 円建て資産について、原則として円を売り、トルコリラを買う為替取引を行いません。 |
| 資源国通貨コース (毎月分配型) / (年2回決算型) | 円建て資産について、原則として円を売り、資源国通貨(ブラジル、オーストラリア、南アフリカの3カ国の通貨バスケット)を買う為替取引*を行いません。 |
| アジア通貨コース (毎月分配型) / (年2回決算型) | 円建て資産について、原則として円を売り、アジア通貨(中国、インド、インドネシアの3カ国の通貨バスケット)を買う為替取引*を行いません。 |
| 米ドルコース (毎月分配型) / (年2回決算型) | 円建て資産について、原則として円を売り、米ドルを買う為替取引を行いません。 |
| メキシコペソコース (毎月分配型) / (年2回決算型) | 円建て資産について、原則として円を売り、メキシコペソを買う為替取引を行いません。 |

※保有する円建て資産の3分の1程度ずつ各通貨への実質的なエクスポージャーをとります。

◆通常の状況においては、「ノムラ・マルチ・カレンシー・ジャパン・ストック・リーダーズ・ファンド」への投資を中心とします*が、投資比率には特に制限は設けず、各投資対象ファンドの収益性および流動性ならびにファンドの資金動向等を勘案のうえ決定することを基本とします。

※通常の状況においては、「ノムラ・マルチ・カレンシー・ジャパン・ストック・リーダーズ・ファンド」への投資比率は、概ね90%以上を目処とします。

◆各コースはファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。

●マネープールファンド

◆安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行いません。

◆円建ての短期有価証券を実質的な主要投資対象*とします。

※「実質的な主要投資対象」とは、「野村マネー マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。

◆「野村マネー マザーファンド」への投資を通じて、残存期間の短い公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券への投資により利息等収益の確保を図り、あわせてコール・ローンなどで運用を行なうことで流動性の確保を図ります。

◆ファンドは「野村マネー マザーファンド」を通じて投資するファミリーファンド方式で運用します。

●「野村日本ブランド株投資(通貨選択型)」を構成する「毎月分配型」のファンド間および「年2回決算型」のファンド間でスイッチングができます。

●分配の方針

◆毎月分配型

原則、毎月22日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行いません。分配金額は、分配対象額の範囲で委託会社が決定するものとし、原則として配当等収益等を中心に分配を行いません。ただし、基準価額水準等によっては売買益等が中心となる場合があります。

また、毎年4月および10月の決算時には、基準価額水準等を勘案し、上記分配相当額のほか、分配対象額の範囲内で委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。

※コースによっては、投資信託約款上「原則として配当等収益等を中心に安定分配を行なう」方針としていますが、これは、運用による収益が安定したものになることや基準価額が安定的に推移すること等を示唆するものではありません。また、基準価額の水準、運用の状況等によっては安定分配とならない場合があることに留意ください。

◆年2回決算型

・各コース

原則、毎年4月および10月の22日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行いません。

分配金額は、分配対象額の範囲で、原則として配当等収益等および基準価額水準等を勘案して委託会社が決定するものとします。

・マネープールファンド

原則、毎年4月および10月の22日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行いません。分配金額は、原則として基準価額水準等を勘案して委託会社が決定します。

*委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)。で、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様にご負担します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆お申込みは

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員
一般社団法人日本投資顧問業協会会員



投資リスク

各ファンド(「マネープールファンド(年2回決算型)」を除く)は、投資信託証券への投資を通じて、株式および債券等に実質的に投資する効果を有しますので、当該株式の価格下落、金利変動等による当該債券の価格下落や、当該株式の発行会社および当該債券の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また各コース(円コースを除く)は、投資対象とする外国投資信託において円建て資産を対各通貨でそれぞれ為替取引を行ないますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。

「マネープールファンド(年2回決算型)」は、債券等を実質的な投資対象としますので、金利変動等による組入債券の価格下落や、組入債券の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

●信託期間

平成31年6月23日まで

| | |
|--|--------------|
| 円コース、豪ドルコース、ブラジルレアルコース、南アフリカランドコース、トルコリラコース、マネープールファンド | 平成21年4月23日設定 |
| 資源国通貨コース、アジア通貨コース | 平成23年1月17日設定 |
| 米ドルコース、メキシコペソコース | 平成26年1月14日設定 |

●決算日および収益分配

【毎月分配型】年12回の決算時(原則、毎月22日)。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
【年2回決算型】年2回の決算時(原則、4月および10月の22日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。

●ご購入価額
●ご購入単位

ご購入申込日の翌営業日の基準価額
1万口以上1万口単位(当初元本1口=1円)
または1万円以上1円単位
なお、「マネープールファンド」は、「年2回決算型」の他のファンドからのスイッチング以外によるご購入はできません。
※ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。

●ご換金価額

【各コース】
ご換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額

●スイッチング

【マネープールファンド】
ご換金申込日の翌営業日の基準価額
「毎月分配型」のファンド間および「年2回決算型」のファンド間でスイッチングが可能です。
*販売会社によっては、一部または全部のスイッチングのお取扱いを行なわない場合があります。

●お申込不可日

各コースは、販売会社の営業日であっても、下記に該当する場合には、原則、ご購入、ご換金、スイッチングの各お申込みができません。

| | |
|---|--|
| 円コース、豪ドルコース、ブラジルレアルコース、南アフリカランドコース、トルコリラコース、資源国通貨コース、米ドルコース、メキシコペソコース | ○申込日当日が以下のいずれかの休業日と同日の場合または12月24日である場合 ・ニューヨークの銀行 ・ロンドンの銀行 ・ルクセンブルクの銀行 ・サンパウロの銀行(ブラジルレアルコースのみ) ・ブラジル商品先物取引所(ブラジルレアルコースのみ) |
| アジア通貨コース | ○申込日当日が以下のいずれかの休業日と同日の場合または12月24日である場合 ・ニューヨークの銀行 ・ロンドンの銀行 ・ルクセンブルクの銀行 ・ジャカルタの銀行 ○申込日当日が、中国またはインドの連休等で、ご購入、ご換金の申込みの受け付けを行なわないものとして委託会社が指定する日の場合 |

●課税関係

個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時(スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【当ファンドに係る費用】

| | |
|--------------------------|---|
| ◆ご購入時手数料 | ご購入価額に3.24%(税抜3.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 <スイッチング時> 販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 なお、「マネープールファンド」へのスイッチングの場合は無手数料 *詳しくは販売会社にご確認ください。 |
| ◆運用管理費用(信託報酬) | 【各コース】 ファンドの純資産総額に年0.9504%(税抜年0.88%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。 ○実質的にご負担いただく信託報酬率 年1.6504%程度(税込) (注)ファンドが投資対象とする外国投資信託の信託報酬を加味して、投資者が実質的に負担する信託報酬率について算出したものです。 【マネープールファンド】 ファンドの純資産総額に年0.594%(税抜年0.55%)以内(平成27年7月10日現在年0.0216%(税抜年0.02%))の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。 |
| ◆その他の費用・手数料 | 組入価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。 |
| ◆信託財産留保額(ご換金時、スイッチングを含む) | 【各コース】 1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額 【マネープールファンド】 ありません。 |

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に依り異なりますので、表示することができません。
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

ファンドの販売会社、基準価額等については、下記の照会先までお問い合わせください。

野村アセットマネジメント株式会社

★サポートダイヤル★ 0120-753104 (フリーダイヤル)

<受付時間> 営業日の午前9時~午後5時

★インターネットホームページ★ <http://www.nomura-am.co.jp/>

<委託会社> 野村アセットマネジメント株式会社

【ファンドの運用の指図を行なう者】

<受託会社> 野村信託銀行株式会社

【ファンドの財産の保管および管理を行なう者】

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてはご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆お申込みは

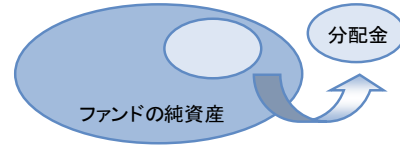
◆設定・運用は 野村アセットマネジメント

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員
一般社団法人日本投資顧問業協会会員



分配金に関する留意点

●分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。



●ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。

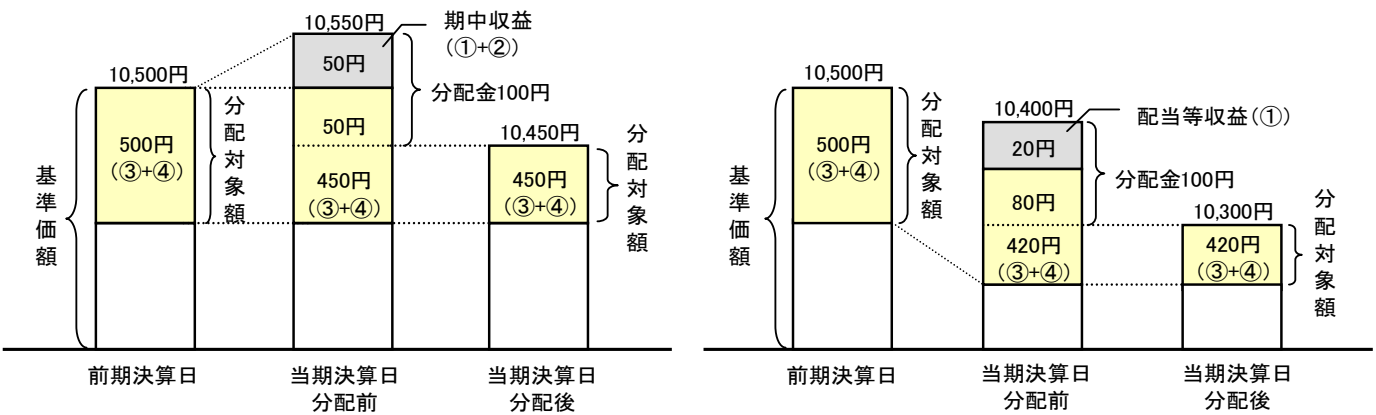
・計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。

※分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

分配対象額とは、①経費控除後の配当等収益②経費控除後の評価益を含む売買益③分配準備積立金④収益調整金です。

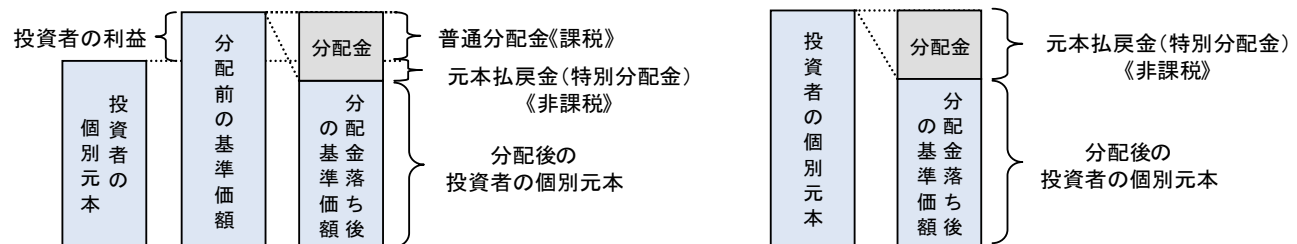
前期決算から基準価額が上昇した場合

前期決算から基準価額が下落した場合



●投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

- ◇普通分配金 … 分配金落ち後の基準価額が投資者の個別元本と同額の場合または投資者の個別元本を上回っている場合には分配金の全額が普通分配金となります。
- ◇元本払戻金 … 分配金落ち後の基準価額が投資者の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金(特別分配金)となります。



※投資者が元本払戻金(特別分配金)を受け取った場合、分配金発生時にその個別元本から元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の投資者の個別元本となります。

(注)普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

※上記はイメージ図であり、実際の分配金額や基準価額について示唆、保証するものではありません。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆お申込みは

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員
一般社団法人日本投資顧問業協会会員